



2011～2012 年度
国際ロータリー会長

カルヤン・パネルジー

Weekly Report Niigata



心の中をみつめよう
博愛を広げるために

2011～12 年度 国際ロータリーのテーマ



2011～2012 年度
新潟ロータリー会長

佐藤 紳一

新潟 RC 10 月第3例会 (2011.10.18) No.2917

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 佐藤 紳一会長挨拶

西大畑公園に樹木も少しずつ紅くなり始め、秋がどんどんと進んでいるのがよく感じる時季になりました。

プロシュートといちぢく、柿、桃…本当に愛想がいいです。またブドウも大変結構で酒が進みます。「春眠、暁をおぼえず」という言葉がありますが、秋は何と云うのかわかりません。

朝、ラジオで「被災地からのメッセージ」という時間帯がありますが、浜通りに住んでいて会津に非難している方から気候の変化の戸惑いについて悩んでいることが紹介されました。私からみると、同じ福島なのだと思いますが、浜通りでは雪は降らず気温も会津と比べると温かいそうです。雪も2メートルも降ったら車の運転はどうしようと考えている様子です。

それでは米山奨学生のボランティア活動を紹介します。台風12号によって、大きな被害の出た第2640地区(大阪府南部・和歌山県)。「現地ですら少しでも役立ちたい」と同地区学友会から声が挙がり、9月24・25日の2日間、奨学生10人と地区米山委員会メンバーら9人が被災地に赴き、浸水した家屋のふき掃除や家財の運び出しなどのボランティア活動を行いました。

参加した奨学生の一人、中国出身の曲航萍さん(富田林RC)は、「被災地の様子を実際に見て、非常に心が痛みました。これからの生活はととても大変だと思うので、少しでも力を貸したい。希望を伝えたい」と語りました。

また、ともにミャンマー出身のピューピューテッコさん(貝塚RC)とピョピョウエーさん(関西国際空港RC)は、「ロータリアンの皆さんに教えていただいたのは、人と人が助け合う精神。片付けたお家の方から、笑顔で『ありがとう』と言われたときは、思わず涙がこぼれるほど感動しました」と、揃って感想を寄せてくれました。

同地区米山奨学委員長の谷野一彦氏は、「今回、学友会の学生たちから申し出てくれたことがとても嬉しく、彼らの気持ちを形にしたいと思いました。参加した奨学生は皆、一生懸命がんだり、達成感を感じたようです。今後の活動にもプラスになるでしょう」と、語っ

ています。今回の活動は、9月27日付の地元紙・熊野新聞の一面に掲載され、紹介されました。

以上、原文のまま紹介します。

(3) 委員会報告

小柳実野球部監督

10月22日 エコスタジアムで予定されておりました、新潟市内RC野球大会は、会場が小針球場に変更になりました。会員の皆様で応援頂ける方は是非、お願いします。

(4) 幹事報告(高橋 秀松幹事)

先週実施致しましたミリオンダラーミールの60,000円を新潟県豪雨災害義援金として第四銀行県庁前支店へ送金致しました。

(5) 卓話「朝市へ行こう！」

敬和学園大学教授 神田 より子氏

職業奉仕月間事業 職場訪問

小飯田 澄雄職業奉仕委員長

1905年2月23日、ロータリーの創始者ポール・ハリスは3人の友と語り、食事をしながらロータリーの灯をともしました。以来106年「職業を通じての奉仕」はロータリアンに共感を呼び、ロータリー活動の精神的基盤を形成して来ました。

10月の職業奉仕月間に因み、今年も恒例の職場訪問を実施しました。10月11日例会終了後、秋晴れの天気の中総勢36名、大型バスにてJR東日本高木支社長の御手配により素材から一貫したシステムで電車を造る製造機関として、1994年に操業を開始した新津の車両製作所を訪問しました。所長をはじめ職員の出迎えを受け、会議室にて画面・資料で説明を聞き、用意されたヘルメット・防護メガネ、イヤホンを着用し、工場内を職員案内のもと電車の素材加工から台車の組立、完成車両迄見学致しました。製造システムの流れ又、コンピューターによるロボット作業の流れ等々勉強になったと思います。特に工場内の清潔・静寂な事、又ロボット作業の為職員の少なさ、完成車両が都心部を中心に走り新津工場にて製造されている事に



驚かされた事と思います。又、質疑応答では一日一両生産、一両約一億円、省エネ法により車両も省エネルギー車両になり、JR東日本は新型電車の「生産」と「保守」をセットにした新

しい管理システムを創っていると聞き、感心した事と思います。最後に工場を新津に作られたJR東日本山下初代会長の礎の前にて撮った集合写真を頂き見学終了となりました。迎えてくださった工場の方々、ご参加頂いた会員の皆様ありがとうございました。



コラム

新潟郵便輸送株

代表取締役 斎藤庫之丞

「小生のペット」

小生のペット？ 女房のペットで小生にとっては相棒？は7頭います。全て去勢されています。小生何故かメスは苦手で未だかつて自分のものにしたことがありません。

デュガル(ドイツ生まれ)25歳、ヒーマン(オランダ生まれ)22歳の2頭はオランダで余生を楽しんでいます。デュガルは1998年ローマでの世界選手権、ヒーマンは2002年ヘレス(スペイン)での世界選手権に出場しました。ロータス(オランダ生まれ)18歳、サラバンド(オランダ生まれ)12歳、バルモラル(ドイツ生まれ)8歳の3頭はドイツで頑張っています。ロータスは2006年アーヘン(ドイツ)の世界選手権に出場し2008年の北京出場は楽勝と思っていたのですが、大失敗をしてしまいました。サラバンドはロンドン用に考えていたのですが、プレッシャーに耐えられないようなので諦めました。今後はバルモラルと2016年のリオデジャネイロに出場できるように精進していきたいと考えています。残りの2頭は日本在住で、フrint(オランダ生まれ)24歳は北海道で余生を楽しんでいます。そして唯一の日本男児ミカズキカムイ6歳は東京で週末小生にしごかれる生活で、やっと我慢することを覚えてきたみたいです。その為小生週末は東京に居なければならず、野球同好会、ゴルフ同好会に参加できないでおります。又ロータリーの週末イベントもほとんど欠席させて頂いています。ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

10月25日の例会予定
月見夜例会